

かわら版

第8回 日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会を開催しました。

日 時：令和7年11月10日（月）
15:00～16:00
場 所：中央福祉センター 集会室
参加者：委員15名
傍聴 3名

■前回議事の確認及び対応方針について
■日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）について

●日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）について

複合施設の施設計画

複合施設の建築計画に関する方向性

敷地	規模	機能	方向性
敷地A 複合施設	2階建て 2000m ² 程度	1階：日野図書館 2階：ひの児童館	・サイレントコントロールの観点から図書館と児童館は別フロアとします。 ・各施設は共用部との連携により機能充実を図ります。
敷地B 複合施設	2階建て 1000m ² 程度	1階：日野宿交流館 2階：中央公民館	・日野宿交流館は甲州街道沿いへ配置します。 ・自治会やイベントでの活用を想定し1階へ多目的室を配置します。
敷地C	—	駐車場 歩行者空間	・駐車場は各種イベントに活用できる設えとします。 ・歩行者空間は各敷地間の連続性が創出される設えとします。

複合施設に求める性能

① 建築デザイン・外構デザイン

- 日野本町地区の風景と調和した建物外観や外構デザインとします。

② バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- 敷地内や施設内の段差をなくし、だれもが安全に利用できるようにします。
- 年齢や障害の有無等に関わらず、最初からだれもが同じ場所や設備を使えるようにします。

③ 省エネルギー・脱炭素

- 省エネルギー技術と創エネルギー技術の導入によってZEB（Net Zero Energy Building）化を図り、ZEB Ready認証の取得を目指します。

④ 防災

- 災害時の一時滞留を想定したオープンスペースを設けるとともに防火水槽を敷地内で更新します。

⑤ ライフサイクルコストの低減

- 維持管理や改修のしやすい建物となるように、建物の仕様や設備機器等に配慮します。

複合施設の建築計画

① 日野図書館（敷地A複合施設）

- 児童書コーナーを拡充して読み聞かせコーナーを設置します。
- ブラウジングコーナーを設けるほか、一般の読書などは複合施設共用空間も利用可能とします。

② ひの児童館（敷地A複合施設）

- 床面積を拡充させるとともに、オープンな空間として多様な遊びができるようにします。

③ 中央公民館（敷地B複合施設）

- 利用者の人数や用途に合わせて選択できる複数の貸室を設けます。

④ 日野宿交流館（敷地B複合施設）

- 新選組や日野宿に関する史資料の展示を主たる機能とし、これに対応できる設備を設けます。

⑤ 共用部（共用貸室・オープンスペース等）

- 多様な活動に対応できる共用貸室を設け、調理実習室、音楽室、防音対応の諸室も設けます。
- 複合施設の各フロアに利用者が思い思いに利用できるオープンスペースを設けます。
- 敷地A複合施設に子どもの一時預かりに対応した一時預かり室を設けます。

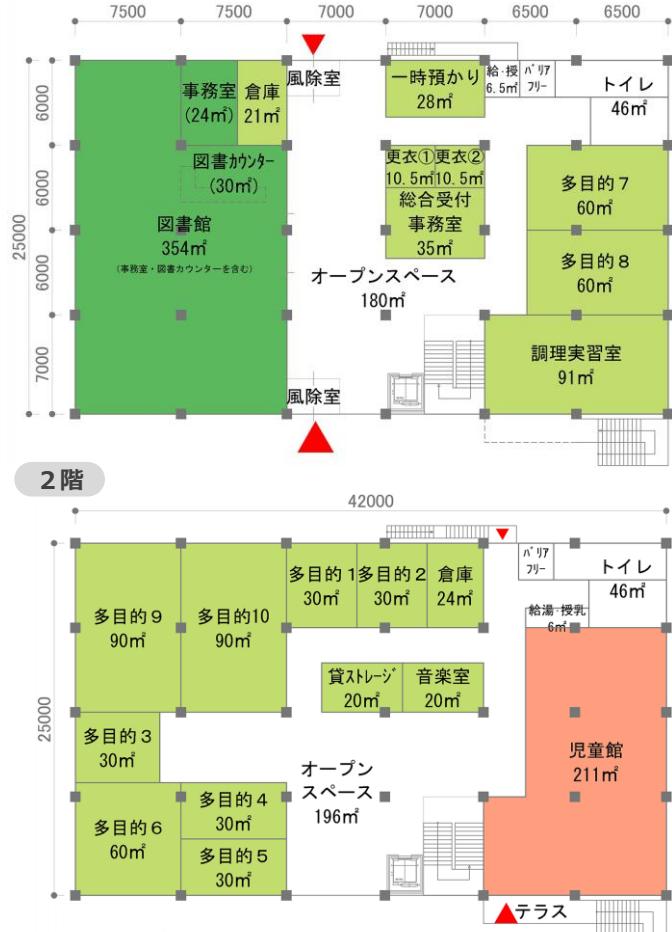
施設配置計画・平面計画

集約拠点I 配置プラン

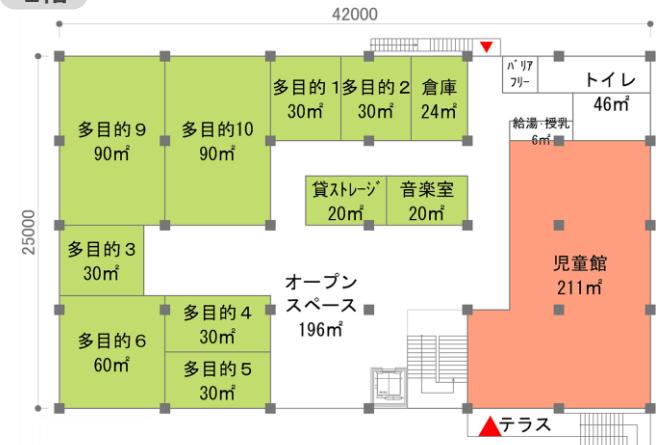
敷地A複合施設 平面プラン



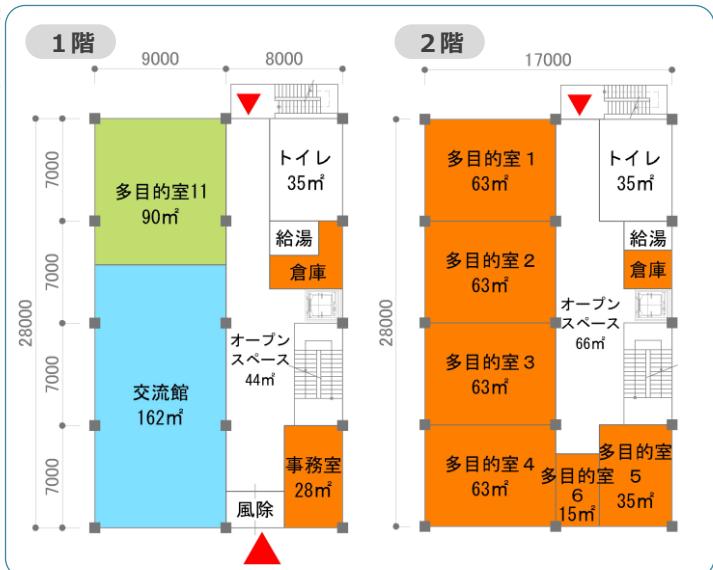
1階



2階



敷地B複合施設 平面プラン



ローリング（建替え）計画

- ローリング（建替え）においては、事業期間中も必要なサービス提供を継続させるため、工事期間中の代替サービスの提供場所を確保すること前提とします。
- 工事期間中の施設利用者の安全確保、騒音問題、工事の効率化等の様々な課題を踏まえて、ひの児童館、中央福祉センター、日野宿交流館の先行解体の可能性を継続検討します。

管理運営計画

管理運営の基本方針

開館日・開館時間

- 原則、現在の各施設と同様とします。
- 日野宿交流館は、観光交流施設として月曜日を新たに開館日とします。
- 共用部（共用貸室・オープンスペース等）は、臨時休館日を除いて無休とします。
- 予約区分改定により、利用機会損失を解消します。

予約区分改定の例

利用区分	開始/終了時刻		時間
午前	09:00	12:00	3h
午後①	13:00	15:00	2h
午後②	15:00	17:00	2h
夜間①	17:30	19:30	2h
夜間②	19:30	21:30	2h

管理運営体制

施設の所管・運営・維持管理

集約拠点Ⅰに整備される新複合施設

生涯学習支援課の所管とし、中央公民館、日野宿交流館、日野図書館、ひの児童館の各施設については、各所管課による運営とした上で、複合施設共用部については、民間活力を導入します。

集約拠点Ⅱの各対象施設

生活・保健センターの貸館機能について、日野本町地区の公共施設として一体的な運用を想定します。また、日野第一小学校については、これまで同様、教職員による運用を行います。



建物全体の所管（財産管理及び維持管理）

生涯学習支援課→民間事業者等による維持管理

事業手法

官民の役割分担について

PPP/PFI手法を導入するにあたり、官民の役割分担については、以下の考え方に基づき、同一の民間事業者（民間事業者のコンソーシアム）に委ねることを前提とします。

- 日野図書館、ひの児童館、日野宿交流館、中央公民館等の各機能については、市職員の直接運営（直営）とする。
- 新複合施設の維持管理及び共用部の運営については、民間事業者へ委ねる。
- 類似施設の運営実績やノウハウを持つ事業者が設計に参画することで、利便性の高い機能提案等が期待できる。
- メンテナンス業者の目線が設計に加わることで、トータルコストの最適化等が期待できる。
- 施設整備や円滑なローリング（建替え）の実現のため、施設整備から管理運営までを一括発注するメリットがある。

	業務	施設整備	維持管理	運営
複合施設A	日野図書館			市 (直営)
	ひの児童館			市 (直営)
	共用部 (共用貸室・オープンスペース等)		民間	
複合施設B	日野宿交流館（展示）			市 (直営)
	中央公民館			市 (直営)
	生活・保健センター (貸館事業)	-	包括 委託	民間 (一部業務の 委託等)
	日野第一小学校（改築）	市 (直営)	包括 委託	市 (直営)

想定する事業方式

上記の官民役割分担を踏まえた事業方式として、DBO（Design Build and Operate）方式またはPFI（Private Finance Initiative）方式のいずれかが該当します。

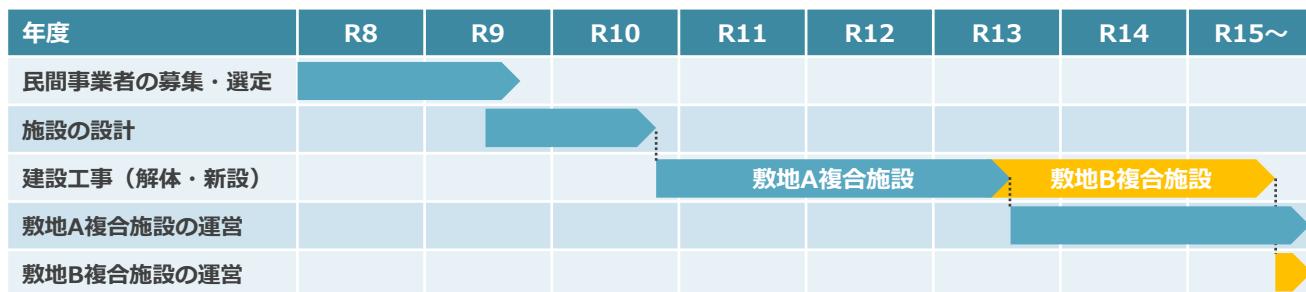
財政負担の平準化効果や本事業に関する民間事業者に対するサウンディング結果等に基づき、本事業に適すると考えられる有力な事業方式をDBO方式とします。

概算事業費

項目	費用（税込）	備考
解体設計費	0.2億円	アスベスト調査費は含まない
解体工事費	2.8億円	飛散性アスベストがない想定での費用
設計費	4.4億円	
建設工事費 (敷地A) (敷地B) (敷地C外構のみ)	50.0億円 (29.4億円) (20.2億円) (0.4億円)	
備品費	1.4億円	什器等
合計	58.8億円	

※令和7年10月時点の建設物価等に基づく概算であり、実際の工事発注時期によって工事費の変動が予想されます。

再編事業のスケジュール（想定イメージ）



※上記は現時点での想定イメージであり、今後変動の可能性があります。

委員のみなさんからの主なご意見

概算事業費について

- 物価高騰による計画延期の可能性を憂慮する。



公共施設マネジメントについて

- 市全体として公共施設の維持費用を平準化していくためには、今後の公共施設の改築の流れ等を踏まえて、市全体で連携して考えるべき。



第8回
検討委員会の様子

今後のスケジュール（予定）

令和7年度

基本計画の策定

次回

令和8年度以降

施設設計等



第5回
検討委員会

第6回
検討委員会

第7回
検討委員会

第8回
検討委員会

第9回
検討委員会

基本計画の
公表

お問い合わせ

日野市企画部 公共施設総合管理担当

〒191-8686 東京都日野市神明1丁目12番地の1 日野市役所4階

直通電話：042-514-8083 代表電話：042-585-1111

FAX：042-581-2516

